

**2012年6月改訂(第6版)

*2009年6月改訂

貯法

保存条件 室温保存
容器 密閉容器
使用期限 箱に記載

日本標準商品分類番号
872355

承認番号 16100AMZ00128000
**薬価収載 2012年6月
販売開始 2006年1月
再評価結果 1986年12月

下 剤
日本薬局方

硫酸マグネシウム水和物

**〔硫酸マグネシウム〔NikP〕〕
MAGNESIUM SULFATE HYDRATE

【組成・性状】

1. 組成

1g中 日本薬局方 硫酸マグネシウム水和物 1g含有。

2. 製剤の性状

本品は無色又は白色の結晶で、味は苦く、清涼味及び塩味がある。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
(経口)	
便秘症	硫酸マグネシウム水和物として1回5～15gを多量の水とともに経口投与する。
(注入)	
胆石症	25～50%溶液20～50mLを十二指腸ゾンデで注入する。
(注射)	
低マグネシウム血症	硫酸マグネシウム水和物として、通常成人1日2～4gを数回に分けて筋肉内注射あるいは極めて徐々に静脈内注射し、血中マグネシウム濃度が正常になるまで継続する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
子癇	1回10～25%溶液10～20mLを筋肉内注射あるいは徐々に静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、増量する場合は注意すること。
頻脈性不整脈	10%又は25%溶液を徐々に静脈内注射する。その際、硫酸マグネシウム水和物として2.5gを超えないこと。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)腎障害のある患者 [血中マグネシウム濃度が上昇するおそれがある。]
- (2)高マグネシウム血症の患者
- (3)腸内寄生虫疾患のある小児 [腸管からマグネシウムが吸収されやすく、中毒を起こすおそれがある。]
- (4)心疾患のある患者 [マグネシウムは心機能を抑制する作用がある。]

2. 相互作用

*併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ニューキノロン系抗菌剤 シプロフロキサシン ノルフロキサシン トスフロキサシン テトラサイクリン系抗生物質 ミノサイクリン ドキシサイクリン テトラサイクリン等 エチドロン酸二ナトリウム	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがあるの で、投与間隔を できるだけあけ るなど注意する こと。	マグネシウムが これらの薬剤と 難溶性のキレ ートを形成し、こ れらの薬剤の吸 収を阻害すると 考えられる。
ペニシラミン		同時投与した場 合、吸収率が低 下するとの報告 がある。
セフジニル		機序不明

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
リトドリン塩酸塩	CK(CPK)上昇 があらわれるこ とがある。	機序不明

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

重大な副作用

マグネシウム中毒(頻度不明)

多量投与により、中毒を起こし、熱感、血圧降下、中枢神経抑制、呼吸麻痺等(解毒にはカルシウム剤を静注する。)

4. 高齢者への投与

高マグネシウム血症があらわれやすいので、用量に留意すること。[高齢者では腎機能が低下していることが多い。]

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にだけ投与すること。[マグネシウムイオンは容易に胎盤を通過するため、新生児に高マグネシウム血症を起こすことがある。]

6. 小児等への投与

腸管粘膜に異常があって、異常吸収を起こすことがある。(「慎重投与」の項参照)

7. 適用上の注意

(1)注射

静注単独投与の場合は10%以下の濃度で徐々に投与することが望ましい。

(2)注入、注射

本剤の水溶液とサルファ剤、アルカリ炭酸塩・炭酸水素塩、酒石酸塩、可溶性リン酸塩、ヒ酸塩、臭化カリウム、臭化アンモニウム等を含む製剤と混合した場合、沈殿を生じることがあるので混合を避けること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: 硫酸マグネシウム水和物
(Magnesium Sulfate Hydrate)

分子式: MgSO₄・7H₂O

分子量: 246.47

性状: 水に極めて溶けやすく、エタノール(95)にほとんど溶けない。
希塩酸に溶ける。
1.0gを水20mLに溶かした液のpHは5.0～8.2である。

【包装】

500g

【問い合わせ先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21
☎(0120)517-215 Fax (076)442-8948

製造販売元
日医工株式会社
NICHII-KO 富山市総曲輪1丁目6番21